

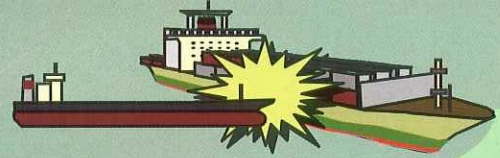
# 霧海難撲滅キャンペーン

霧に覆われた来島海峡

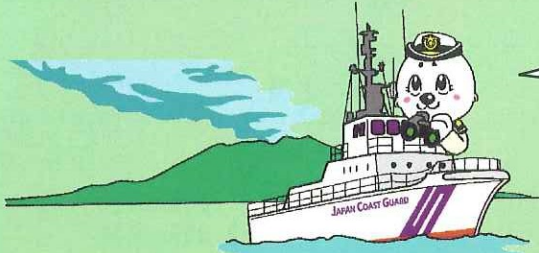
～瀬戸内海・宇和海海難防止運動～  
(H22.3.1～H22.3.10)

霧海難 **ゼロ** をめざして

このリーフレットにおける「狭視界」とは、海上保安庁が作成する海難統計において、「視界2,000m未満」をいいます。

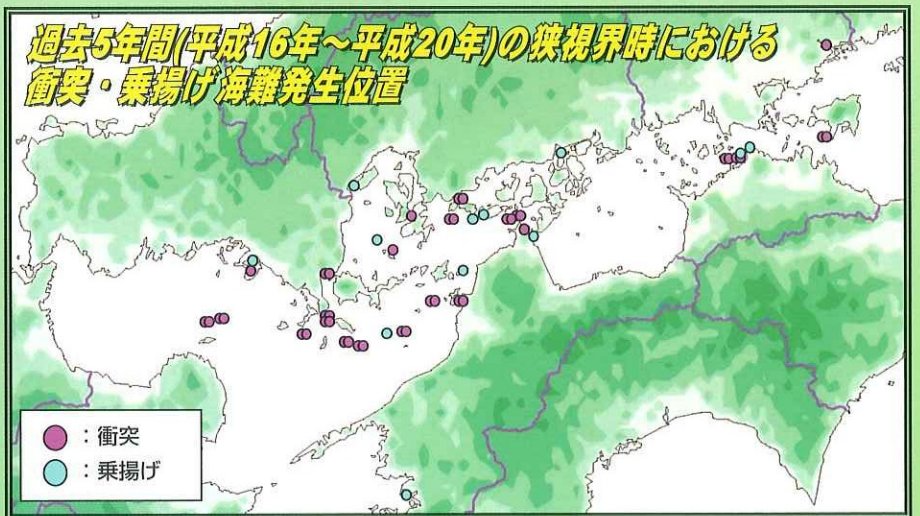


瀬戸内海・宇和海では、春先から夏場にかけて、霧による海難が多く発生しているわ！



瀬戸内海・宇和海では、春先から夏場にかけて霧が発生しやすくなります。

過去5年間(平成16年～平成20年)の狭視界時における衝突・乗揚げ海難発生位置



第六管区海上保安本部

海難防止強調運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議

(財)海上保安協会広島地方本部、(社)瀬戸内海海上安全協会、(社)瀬戸内海小型船安全協会、中国総合通信局 四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会広島事務所、中国地方海運組合連合会、全日本海員組合中・四国地方支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部

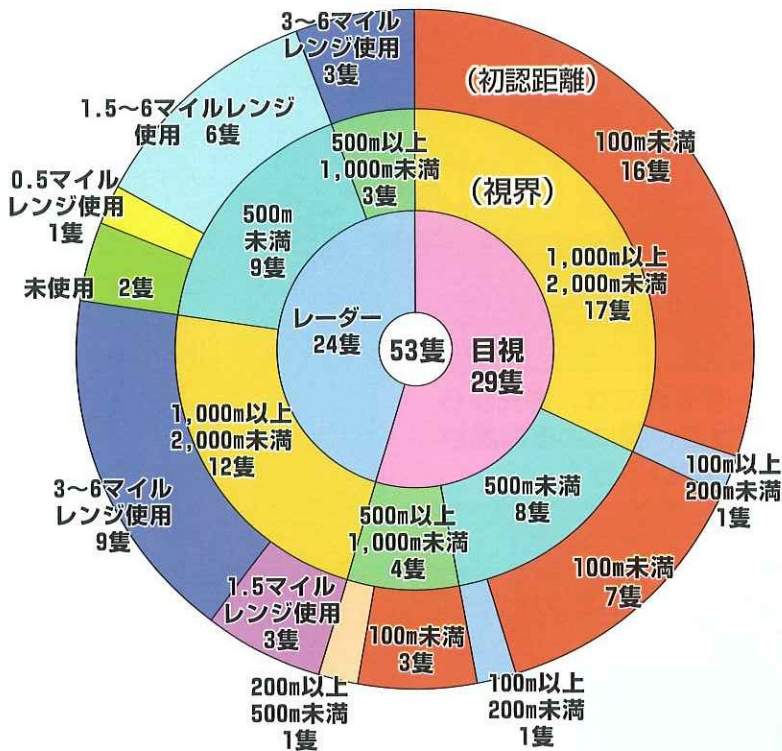
# 狭視界時における衝突・乗揚げ海難のほとんどは、 操船不適切・見張り不十分です。



## 53隻中 41隻

狭視界時における相手船初認距離  
(平成16～20年)

このグラフは、視界毎の目視による初認距離（初めて相手船を確認した距離）とレーダーで初認した場合の使用レンジを示しています。



※狭視界時のうち、比較的良好な場合でも、相手船を認めるのが遅れがちです。

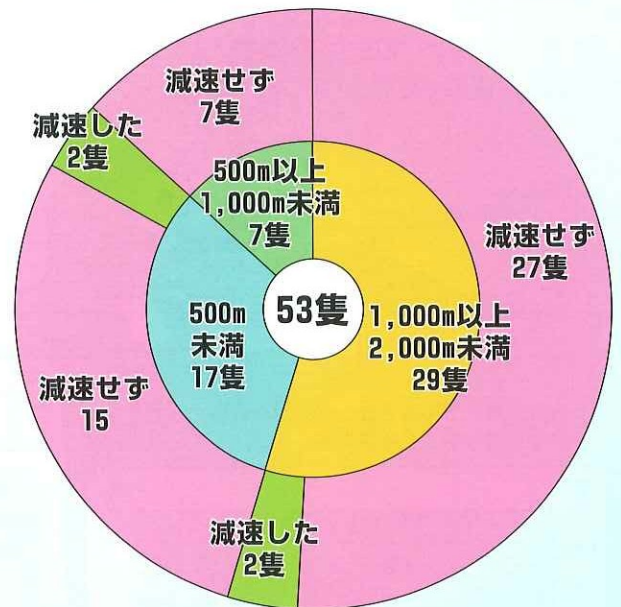
### ・狭視界時における航法等の遵守

- (1) 厳重な見張りの励行
- (2) 霧中信号の励行・遵守
- (3) 安全な速力による航行
- (4) 船位の確認、適切な避航動作
- (5) 安全な場所へ早期に避泊

### ・狭視界時における安全運航マニュアルの策定と励行

### ・気象・海象等の十分な把握

狭視界時における相手船初認後の措置  
(平成16～20年)



※スピードを落としていないのがほとんどです。

霧が発生したら、  
**さらに見張りを強化**  
することが大事だね！

**無理をせず早めに安全な場所へ避泊**  
することも大切だよ！



視界が悪いときは、まず、  
**スピードを落とす**  
べきだね！

(注) このリーフレットに使用しているデータは、第六管区海上保安本部が実施した海難調査によるものです。